

ウェル★シェア

令和8年1月号
(年4回発行)2026
No.15<https://sites.google.com/view/y-fukushi-jinzai/>

山梨県福祉人材センター

検索

福祉・介護職員の交流会

～ゆるゆるミーティング～を開催しました

今月号は、介護施設・事業所の方とシェアする情報です。昨年11/20(木)に介護職の魅力や未来について語り合っていたく交流会「ゆるゆるミーティング」を開催しました。今回は、南アルプス市にある蔵-kura-を特別にお借りし、台湾式足つぼ・お茶体験を含めた交流会とし、台湾式足つぼの講師として藤森恵美様をお招きしました。介護アンバサダー・介護の魅力発信人材バンク登録者・優良職員表彰受賞者の方にお集まりいただき、とても有意義な会となりました!

蔵 -kura-

古民家を再利用した地域拠点「蔵-kura-」は社会福祉法人ゆうゆうが運営している施設です。生活の慌ただしさから抜け出し、ゆったりと流れる時間の中で自分と向き合うことができるサードプレイスとして、子育て支援センターや一時預かり、café等のサービスを提供しています。



台湾式足つぼ体験

ゴルフボールや指を使って、セルフケアとしても楽しめる、台湾式足つぼを体験しました。講師の藤森様は「家庭や施設でも転倒予防として台湾式足つぼを普及させたい」と活動されています。つぼの押さえ方を学んだ後、藤森様に一人ひとり回っていただき、それぞれの方に合わせたつぼを体感していただきました。皆様感じるつぼが違い、「家庭や施設でも取り組みたい!」と、とても盛り上がりしました。



藤森 恵美さん

交流会

台湾で金賞を受賞した紅茶を飲みながら、リラックスした雰囲気の中で、参加者の皆さんに自由に語り合っていました。「介護職は、大変、きついといったマイナスイメージが先行しているが、そもそも発信のしかたが違うのではないかな。自分は仕事が生きがいだ毎日楽しく働いている。同じ職場の後輩や同僚も楽しく働けるように、例えば後輩が休暇を取りやすいように自ら積極的に休みを取り、普段の会話の中からも息抜きの時間を取れるように促している。」というお話もありました。「事業所内で人手が足りない場合は、上の立場の人が「法人内で助け合う」という視点を持つなど、何事も固定観念にとらわれない意識を持つことも今後の介護職の未来をよりよくするのに必要ではないか」という意見もありました。

甲府市内でデイサービス4カ所と訪問介護事業所を運営する「株式会社あつとほ一む」常務取締役(介護福祉士)でシナプソロジーインストラクターの宮田智江(みやた・ちえ)さんにお話を伺いました。



株式会社あつとほ一むの概要や特色を教えてください。

宮田 智江さん



地域密着型通所介護として1号館、2号館、甲府伊勢、通常規模型のデイサービスとして甲府山宮があります。訪問介護事業もしています。経営理念として「お客様の『喜び』と『楽しみ』を創造し、お客様の価値観を尊重した革新的な介護サービスを提供し続けることで、社会福祉の進歩発展に貢献いたします」を掲げています。福祉現場では利用者様と呼ぶことが多いと思いますが、私たちはお客様とお呼びしていて、よりお互いを尊重しながら過ごせるように意識しています。



「分かってくれて、ありがとうございます」と言ってもらえる事がやりがいです。だんだんいきいきとしてくるお客様にいつもパワーをもらっています。



「大人の社交場」というコンセプトが生まれた理由、きっかけを教えてください。



人生の大先輩に貴重な時間を割いてわざわざお越しいただくので、寂しい、つまらない等、疎外感を感じるような思いをしてもらいたくないというのが根底にあります。それぞれが好きなことを楽しむ、その人の得意分野で輝いていただきたい、という思いをきっかけに、「大人の社交場」として、その人らしさやその人の好きなことを楽しめる環境づくりに努めています。初めは不安な様子のお客様も、だんだんと「あの人がいるならまた来たい」「これなら得意」と、いきいきとされる方が多いです。



会社として大切にしている理念や考え方を教えてください。



シナプソロジーという有資格者が行う活性化プログラムで、認知機能、注意実行機能などの向上に努めています。シナプソロジーは、MCI(軽度認知障害)の方を対象にした検証で、専門的な脳トレーニングによって3分の2が改善されたというデータもあります。

また、スタッフの中には元プロのバスガイドがいて、動画を見ながら楽しく観光案内をする等、スタッフの個性や得意なことも尊重しています。ものづくりが得意な方が多いので、ものづくりにも力を入れています。「私は何にもできないよ」と話していたお客様に、「こういうのを作りたいんだけど…」と相談すると、「それならこうしたらいいんじゃない?」と様々なアイデアを出して下さり、素敵な作品を作ってくれます。指先の運動や達成感にもつながるので、素材はたくさん用意しています。作品は、銀行のロビーに展示していただいたり、地域の文化祭などにも積極的に出品したりしています。地域の方との交流や社会貢献としての目的も含め、必要とされているという実感を持っていただけたらと考えています。お客様に楽しんでいただくためにも、私たちも学びの姿勢で関わる気持ちを大切に、一緒に活動を楽しんでいます。



一人ひとりその人らしさを大切にしたい介護サービスを提供する中でどのような効果や課題がありましたか?



一番の効果は、「また来たい」「楽しい」と言っていただけのことです。最初にケアマネジャーさんからいただく情報の中に、その方が昔何をしていたのかなど、好きなことを見つけるヒントがあります。その情報をもとに、その人らしさを一緒に探しながら過ごしています。ご家族の方にも「こんなことができたんですね」と喜んでいただけていることが多いです。サービスを利用してから出来るが増える方が多く、要介護4で歩行が難しかったがお客様が、歩けるようになって一時は要介護1にまでなったことが特に印象的でした。課題としては、何でも自分の思い通りにしたいと考える方がいらっしゃることですね。その場合は、こちらの思いを伝え、バランスを取りながらサービスを提供できるよう心がけています。

事業所のいたるところにお客様の作品が展示されている





課題解決に向けてどのような取り組みをしていますか？

お客様と
コミュニケーションを
とる宮田智江さん
(写真右)



先ほどお話しした課題の解決に向けては、研修を受講したり、職員間で話し合いを行ったりしています。そのほかの課題として、人手不足が挙げられます。定年退職などでお辞めになった後、補充がなかなかできないことがあります。現状、派遣の方もいらっしゃる。最初の頃はパートさんが多かったのですが、社員登用して定着を促しています。



働きやすい職場環境づくりで心がけていることは何ですか？



お客様はもちろん、スタッフにも過ごしやすいと思ってもらえるよう心がけています。スタッフ間のコミュニケーションを密にしたり、部門ごとのミーティングや月1回は役職員が集まって会議をし、意思統一を図ったりしています。シフトも役職員が協力して作成しています。スタッフ同士とても仲が良く、気軽に声を掛け合っています。

「株式会社あっとほ一む」の取り組みに対し、実際に働く社員の方はどう感じているのか、生活相談員(介護福祉士)の森田芽衣子(もりた・めいこ)さんにお話を伺いました。



入社しようと思った理由は何ですか？

森田 芽衣子さん



引っ越しをきっかけに、自宅から通える範囲の事業所を調べ、あっとほ一むを見学しました。アットホームな雰囲気、お客様が生き生きとしているのが印象的でした。何かしてあげるのではなく、寄り添いながら共に歩むという姿勢や、経営理念などにも魅力を感じ入職を決めました。

また、転居前は、特養に勤めていました。小学生の頃、祖母が施設に入所していて、初めて職種として認識したのが介護福祉士でした。以来、介護福祉士になりたいと思っていました。特別養護老人ホームとデイサービスでは、お客様の介護度などは異なりますが、介護福祉士として働きたいと考えていたので、介護施設を探していました。



デイサービスは初めてでしたが、職場のイメージが良く、お客様に寄り添うという考え方にも共感し、入社しようと思いました。



どんなところが働きやすいと感じていますか？



スタッフ間でコミュニケーションが円滑にとれるところです。オープンに、立場は関係なく意見交換できるので、職員が一丸となって業務に臨める環境だと思います。



その人らしさを大切にすること意識していることはありますか？



高齢になった「今」だけでなく、これまで生きてこられた人生や背景を大切にしたいと考えています。一つの言葉、一つの行動を断片的に受け取るのではなく、背景に何があるのかを考えることで、本心には何があるのかを考えるよう意識しています。

デイサービスなので日中の様子しか見ることができませんが、ご家族の方とも共有し合いながら、どんなことで楽しいと感じるのか等考えています。特養での経験から、夜の様子を想像できるのも良かったと思います。帰宅後のお客様の様子を想像しながら、ここに来るのを楽しみにしていただけたようにしたいと考えています。切り絵が得意な方、編み物が得意な方、もの作りが得意な方など様々です。一人ひとり、お客様が先生となってくださることも多いので、自分たちも学ばせていただく姿勢で関わっていることが、その人らしさを見つけるきっかけになっているのかなと感じています。



貴社の取り組みについて、どのように考えていますか？

お客様と
コミュニケーションを
取る森田芽衣子さん



地域の感謝祭やいきいきサロンなど、ありがたいことに主催者様側から声をかけていただけることが多く、地域に解け込めていると感じています。施設だけではなく施設外での関わりが持てるのも魅力だと感じています。

大変だと感じるころは、お客様は一人ひとり違うので、引き出しを多く持つ必要があるところですかね。入所時は「私なんて何にもできないよ」という方もいらっしゃるんですが、その人らしく楽しく過ごしていただくにはどうしたらいいのか考え、お客様から「来るのが楽しみ、また来たい」と言っていただきたり、ご家族から、「こんなに生き生きと過ごしているんですね」と言っていただきたり、お客様に元気に過ごしてもらえると励みになります。



福利厚生や研修などで「ありがたい」と思う制度はありますか？



誕生日休暇があるのはうれしいですね。子育て中で、子どもも日々頑張っているの、一緒に過ごせる時間があるとリフレッシュになります。また、子どもの急な発熱や行事などでお休みしなければならない際も、お休みさせてもらっていて、とても有難いと感じています。

また研修は、年間で計画が立てられており、他の事業所の方と顔見知りになれたり、情報交換したり、横のつながりができるので有難いです。

株式会社 あっとほーむ

〒400-0851 甲府市住吉4丁目20-15 TEL.055-269-8072

提供サービス デイサービス、訪問介護

関連施設

デイサービスあっとほーむ1号館、
デイサービスあっとほーむ2号館、
デイサービスあっとほーむ甲府伊勢、
あっとほーむ甲府山宮、あっとほーむ訪問介護事業所、
あっとほーむライフサポートクラブ



<https://www.athome-kofu.com/> [あっとほーむ甲府](#) [Q検索](#)

公式X (旧Twitter)では、各種イベントの案内・新着求人情報・イベントカレンダーなど最新情報を配信します。



公式LINEでは、福祉のお仕事に関する求人求職情報・相談会などを含む各種イベント情報を案内、トークでの相談もできます。

山梨県福祉人材センター
公式LINE



山梨県福祉人材センター
公式X (旧Twitter)



発行：山梨県福祉人材センター (山梨県社会福祉協議会内)

福祉人材無料職業紹介所 厚生労働省許可番号：19-ム-010004
〒400-0005 甲府市北新1-2-12(山梨県福祉プラザ1階)
TEL.055-254-8654(直通) FAX.055-254-8690
E-mail jinzai@y-fukushi.or.jp

Access

JR甲府駅北口より塚原行、上帯那行、HANAZONOホスピタル行バスで10分
山梨県福祉プラザ(停留所)下車

